

(別紙4(2))

事業所名 グループホームあじさい「小杖」

目標達成計画

作成日: 令和 5年 4月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 及び 7	「身体拘束」や「不適切ケア」や「虐待」といったご利用者様へ権利侵害が起きない施設づくり。	「不適切ケア」や「身体拘束」を職員個々が理解し、お互いに注意し合える環境づくり。	①あじさい基礎研修「虐待」の全職員受講 ②定期的なユニット会議など会議の場で事例検討 ③身体拘束「0」会議への参加と議事録の回覧	12ヶ月
2	4	新型コロナウイルスへの感染対策のため運営推進会議が書面開催にとどまっている。 これにより、ご家族様や外部の方々の来所による事業所を見てもらうことによる協力関係づくりが出来ていない。	会社の新型コロナ感染対策に照らしつつ、運営推進会議を開催する。	①5・7・9・11・1・3月に定期開催が出来るよう事業所で年間計画を立てる。 ②開催つきの前月の「あじさい便り」で開催のお知らせを記載し、ご家族様へお知らせする。 ③ご家族様以外へは開催のお知らせを作成し郵送にて参加を呼び掛ける。	12ヶ月
3	35	災害時の地域との協力体制が出来ていない。	災害時に地域に頼られ、頼れる施設になる。	①防災訓練時に評議員様に参加いただくことで、施設の実情を知っていただく。 ②地域の防災訓練へ見学でもよいので参加することで、地域に高齢者施設があることを地域の方々に知っていただく。 ③駄菓子屋や施設行事を通して、地域の方々に施設を見ていただく。	12ヶ月
4	2	地域交流室を活かした地域の方々と取り組みが行えていない。	①駄菓子屋の開催と②保育園へ依頼し、来所いただくことで、子供の声でにぎやかな施設づくりを行う。	①-1同法人の他の事業所へ、駄菓子屋開催までの流れを確認する。 ①-2会社へ予算を依頼する。 ①-3自治会回覧板へ開催のお知らせを掲載する。 ①-4ご利用者様へ店員を依頼し、開店する。 ②-1近隣の保育園へ企画を説明する機会を設けていただき訪問する。 ②-2保育園の協力のもと地域交流スペースに来所いただく。 ②-3クリスマス会などの出し物の練習を地域交流スペースで行っていただく。 ②-4ご利用者様に見学交流の機会を設けていただく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。